

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 6 月（着任 0 年 12 カ月目）
主な活動	1 西穎娃駅構内除草作業 2 有識者との会議に参加

## 1. 西穎娃駅構内除草作業

梅雨時になり、一雨ごとに草花が生い茂る季節。アジサイなどの季節を感じる草花もありますが、やはり目につくのが雑草。生い茂ると、景観に大きな影響を及ぼします。特に駅構内は、待ち時間などで滞在する時間が長く、目につきやすいのが特徴です。

西穎娃駅をきれいにしたい、という思いを持つ方を募集したところ、12名の方が参加し、駅構内除草作業を行いました。

当日は曇り空でしたが、利用していただく方が気持ちよく過ごせるようにきれいにしていく、という思いが通じたためか、作業終了まで雨が降ることなく、作業を終えました。見違えるほどの景観に、参加していただいた方々から感嘆の言葉があったのは嬉しく思いました。

自前の機材を持ってきて参加していただいた方々や、機材準備から除草した草の回収までお世話になった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

駅をきれいにすること、そのために自分たちができることは何かを考えながら取り組んで参ります。



## 2. 有識者との会議に参加

指宿枕崎線をどのように活かすか。それぞれの人々が持つ思いを結集して取り組む場として「JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト」があり、会議に参加しました。

昨年度に「残すべき価値」「価値を高めるためにやるべきこと」を話し合い、アイデアを出しましたが、今年度はアイデアを精査して実行する段階に入ります。

鉄道を利用する、と言っても、利用する方々は様々な目的や価値観を持っておりませんが、一つでも多く形にできるよう、どのようにすれば良いか討議しました。

時間が足りなくなるほどの白熱したものとなり、様々な視点から活かす価値が見えてきました。鉄道から派生する価値も考えられたのは大きいと感じます。

実行するには様々なことがあります、メンバーとともに取り組んで参ります。

鉄道は移動手段の一つですが、それを活かすには他の交通機関との連携が欠かせないものとなります。かつてはそれぞれの事業者が利用者にとってベストになるよう、部分最適の姿勢でしたが、最近は公共交通事業者が連携してスムーズに目的地まで行けるように取り組む、全体最適の姿勢に変わりつつあります。

旅行者などの不慣れな利用者が目的地までスムーズに行くには、という視点と、地域に住んでいる方々が安心してお出かけできる手段にするには、という視点があります。

目的地までスムーズに移動できるようになると、利便性が増して、街の魅力につながるようになります。

大分県臼杵市で開催されたフィールドワークで課題を話し合いました。列車到着時に合わせたバスの運用と言っても、一筋縄ではいかないこと、特に他の地域から来るバスとの関係が課題になること、また、分かりやすい案内と言っても、どこまで案内に盛り込むかという課題もある、ことが分かりました。

これをすればすべて解決という方法はないですが、複数の方法を合わせて連携して取り組んでいくことで、よりよい状態になることを感じました。

